



# バンコク便り



## 1. はじめに

タイは年間を通して4月、5月の気温が高いのですが、今年は特に酷暑ともいえるほどの気温が続いており、在タイ日本大使館から酷暑に関する注意喚起が出ている状況で、3月以降酷暑が原因による死亡者が20人以上にも上っているとの事です。

## 2. タイ最低賃金引き上げは見送り濃厚

5月1日のメーデーに合わせ、タイ労働連盟は最低賃金引き上げを含む改善案を政府に提出しました。一方、タイ経済の回復ペースが鈍い現状を鑑み、産業への影響を警戒する政府は将来的な引き上げに言及することどめ、実際の引き上げ時期には言及しませんでした。タイの最低賃金は2013年1月に全国一律300バーツとなって以降、4年据置となる可能性が濃厚な状況です。

## 3. バンコク及び周辺県の地価が3.2%上昇

4月27日タイ民間不動産調査会社が2015年のバンコク及び周辺県の地価動向調査を発表しました。それによると、地価は前年比3.2%の上昇に止まり、景気低迷の影響により13年の4.6%、14年の3.5%から減速。同社は2016年の予測について、総選挙が予定通り行われれば3.5%~4%上昇し、政情不安なら2.5%~3%のプラスに止まるとの見通しを示しています。2015年最も地価の高かったエリアの地価は、1平方ワ（4㎡）辺り190万バーツ（約630万）に達したとの事です。

## 4. ツルハ、タイで5~10店を追加=売上15%増を目指す

タイでドラッグストアを展開するツルハ（タイランド）は、2016年に売場面積が200~500㎡の大型店を中心に5~10店を新規出店で、投資額は1億~1億5,000万バーツ（約3億~5億円）を想定しているとの事です。同時に販売プロモーションも強化し2016年の売上高は前年比15%増を目標としています。ツルハは現在タイで22店舗を展開しており、2012年1号店をオープン以降今後4年以内に店舗数を100店まで増やすことを目標にしています。

ツルハタイランドでは出展店舗のブースを利用した日本産品のプロモーションを定期的開催しており、これまで焼き芋やブランド苺である「あまおう」の店頭販売などを輸入業者とタイアップで実施し、タイ人を中心に好評を得ているとの事です。

## 5. アサンサービス日本酒プロモーション開催

5月18日、19日の2日間に亘りタイの日本食レストランやスーパーへ酒類などを卸しているアサンサービスの日本酒をメインとした展示会がバンコク市内のホテルで開催されました。日本から当社取引先約50社の酒類製造や食品メーカーが出店しており山形からは、寒河江の月山酒造、鶴岡の竹の露酒造の2社が参加されておりました。

両社とも昨年開催された展示会にも参加されており1年ぶりの来タイとの事でありましたが、タイの年々増加する地酒銘柄の種類に驚かれているようでした。その中で、月山酒造さんはしっかり前年対比でタイ出荷量を伸ばしており、また竹の露酒造さんは昨年初タイ出荷からまだ1年ですが、新たに純米大吟醸「はくろすいしゅ」のタイ輸出が決まったとの事で、激化するタイ日本酒市場において着実な歩みを進めているようでした。

会場では他出展されている他県の酒蔵の方とも会話出来、各々どのランクの銘柄が一番売れているか聞いてみたところ、総じて売れ筋は各社一番価格の高い大吟醸ランクと、逆に一番安い醸造酒の2つであるようでした。

理由として、日本人や日本を良く知るタイ人が注文するのは大吟醸クラスが多く、昨今の日本食ブームで関心を持ったタイ人がテイスティング的に価格帯の安いランクの日本酒を注文する傾向にあるようです。



【本件に関する連絡先】

海外業務部 石井、軽部、023-626-9050

バンコク駐在（カシコン銀行ジャパンデスクトレーニー）山岡 +66-(0)9-2249-1176